いちうら 感染症情報

定期号　9月号②

2026 9/24 配信

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には 医 を、一般施設向け情報には 全 をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第37週(9/7~9/13)　定点報告：第33週~37週(8/10~9/13)

全数報告疾患情報　医

市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第33週~第37週のグラフを別添しております

2類感染症	37週	累計（年）
結核	2	71

5類感染症	37週	累計（年）
梅毒	2	25

3類感染症	37週	累計（年）
腸管出血性大腸菌感染症	2	8

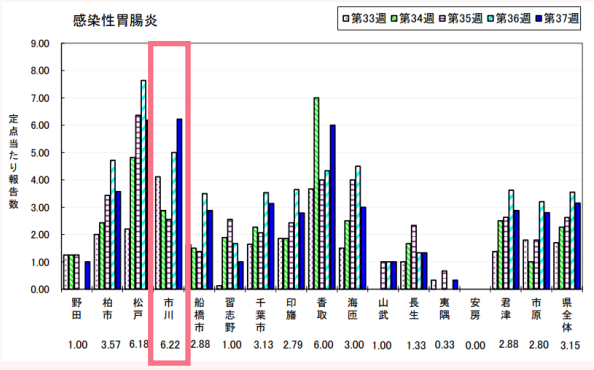
発生動向トピックス

TOPICS 1　「感染性胃腸炎」の定点当たり報告数が増加しています　医 全

千葉県における2026年第37週の県全体の定点当たり報告数は、3.15人となりました。市川保健所の定点当たり報告数は6.22人と県全体を大幅に上回っており、感染拡大が懸念される状況です。

感染性胃腸炎は、冬場に流行のピークを迎えますが、例年9月後半から徐々に患者数が増加します。これからの流行に備え、感染性胃腸炎に関する正しい知識や、施設内での予防対策や嘔吐処理手順の再確認など、感染拡大防止に向けた取組の徹底をお願いいたします。

図：保健所別感染性胃腸炎定点当たり報告数



感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスのほか、さまざまな病原体によって引き起こされる感染症です。主な症状として嘔吐、下痢、腹痛などがみられます。特に乳幼児や高齢者は脱水症状を起こしやすいため、尿量の減少や体調の変化に注意が必要です。

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎の原因となるウイルスは、アルコール消毒が効きにくいため、感染を予防するためには、手洗いの励行や、嘔吐物・糞便等の適切な処理、汚染区域の消毒(次亜塩素酸ナトリウム)、食品類の十分な加熱が重要です。基本にして最も重要な感染対策は、流水と石けんを用いた丁寧な手洗いです。調理前や食事前、トイレの後、排泄介助の後には必ず手洗いを行い、感染拡大を防ぎましょう。

施設において感染性胃腸炎の集団発生があり、発症者が累計10名以上となった場合等、「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」の要件に当てはまる場合は、速やかに保健所へご報告をお願いいたします。詳細は、市川保健所ホームページをご確認ください。

報告基準

1) 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間に2名以上発生した場合
2) 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
3) 1)及び2)に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

感染性胃腸炎

症状

潜伏期間は24～48時間程度（ノロウイルス）
■嘔吐　■下痢　■腹痛　■発熱　■食欲不振
■脱水症状（口の渇き、尿量の減少、意識の低下）

感染経路

■経口感染・・汚染された食品や水を摂取することで感染
■接触感染・・感染者の便や吐物に触れた手を介して口に入る
ドアノブ、手すり、タオルなどの共有物を介した感染
■飛沫感染・・感染者の嘔吐物から飛び散った飛沫を吸い込むことで感染

登園目安

嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
（保育所における感染症対策ガイドラインより）
※登園を再開した後も、ウイルスは便中に3週間以上排出されることがあるため、排便後やオムツ交換後の手洗いを徹底する

保健所が感染性胃腸炎の集団発生時に、感染拡大防止の観点からお伝えする事項として多いのは、消毒回数の不足（発生時は1日2回以上がのぞましい）、消毒薬の取り扱い（開封日の記載や期限）、感染性廃棄物の適切な処理、手指衛生の徹底です。ノロウイルスなどはアルコール消毒が効きにくいため、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒を行いましょう。次亜塩素酸ナトリウムは、噴霧（スプレー）は行わないでください。（吸入による健康被害のおそれがあり、消毒液が十分に行き渡らず消毒効果も不十分となるため）また、使用する都度または毎日新しく作り直すことが大切です。

開封していなくても時間の経過とともに有効濃度が低下するため、購入後はなるべく早めに使用し、各商品の消費期限をご確認ください。感染拡大を防ぐため、施設内の感染対策を改めて確認し、これからの流行シーズンに備えましょう。

対応切り替え基準の設定

消毒回数増加　手洗い徹底　個人防護具の着用徹底

流行時には、対応を切り替えるタイミングがその後の感染拡大に大きく関わっています。初動の遅れを防ぐために基準を設けましょう。
例えば、流行期(12月～1月)の場合は、消化器症状を呈する利用者が1名でも発生したら対応を切り替えることをお勧めします。

健康観察



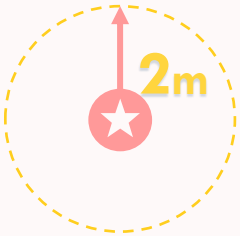
日頃から健康観察等で得られた情報を集約し、通常の発生動向と異なる点がないかどうか等を迅速に確認することが重要です。
得られた情報は、1つの媒体に集約し、可能であれば欠席者数等をグラフ化する等可視化できるようにしましょう。

手指衛生



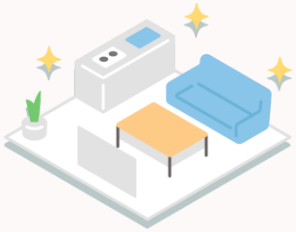
感染性胃腸炎は、汚染された手や食品等を介して口から感染します。
こまめな手洗いを心がけましょう。
特に、トイレ後、食事前は必ず手を洗いましょう。

嘔吐箇所の消毒範囲



嘔吐物が少量であっても、広範囲に飛散している可能性があります。
嘔吐箇所から半径2m(壁も忘れず)の消毒範囲を確保しましょう。

環境消毒



施設内で感染者が発生している場合は、環境消毒の回数を1日2回以上に増やしましょう。
特に、よく触るような手すりやトイレはこまめに消毒しましょう。

次亜塩素酸ナトリウム希釈濃度

嘔吐箇所の消毒
0.1%
環境消毒
0.02%

参考

厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html
千葉県感染症情報センター「千葉県の感染性胃腸炎発生状況 2026年第37週」
https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637gastro.pdf
こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン（22023年5月一部改訂）」
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/e4b817c9-5282-4ccc-b0d5-ce15d7b5018c/d557529d/20230401_policies_hoiku_15.pdf
市川保健所「市川保健所感染症（感染性胃腸炎疑い）発生報告フォーム」
https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kansensyo-hasseihoukoku/form.html

TOPICS 2　乳幼児施設向け感染症対策研修会を開催します！　医 全

保育所や幼稚園などの乳幼児施設では、子ども同士の接触が多く、おもちゃやドアノブなどを介して感染が広がりやすいため、集団発生につながることがあります。
市川保健所ではこれからの本格的な流行に備え、乳幼児施設を対象とした感染対策研修会の開催を予定しております。管内乳幼児施設関係者の皆様の御参加をお待ちしております。

令和８年度　乳幼児施設等における感染症対策研修会のおしらせ

保育所等の乳幼児施設向けに感染症対策についての研修会を開催します。
本研修では、発生時に備えた健康観察のポイントや、現場で役立つ対応方法をお伝えします。
日々の感染対策の振り返りや、施設内での情報共有にぜひお役立てください。

日　　時：令和8年10月9日(金)　午後1時15分~午後2時30分
対　　象：管内幼稚園含む乳幼児施設の管理者及び職員、市担当職員
開催方法：Zoom
申込方法：右のQRコードまたは下のURLから申込フォームにアクセスし、申し込みをお願いいたします
https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=63255



申し込み締切は過ぎておりますが、10/5まで参加申し込みを受け付けています。ぜひご参加ください。

TOPICS 3　9月24日～9月30日は結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間です！　医 全

結核　「令和の日本にも 結核は あります」

結核の症状（長引く咳、たん、微熱、体のだるさなど）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。

発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけではなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。結核に限らず、さまざまな疾患の早期発見のために、胸部エックス線検査を1年に1回程度受けておくことが大切です。

千葉県では、2026年第37週に県内医療機関から結核の届出が20例あり、2026年の累計は567例となりました。567例の概要は以下のとおりです。

- 性別　男性 298例（53%）、女性 269例（47%）でやや男性の方が多い。
- 年代別　多い順に①80歳以上→②20代→③70代→④60代　60歳以上が約半数を占めている。

非結核性抗酸菌症：NTM　「長引く咳に NTM症 という視点を」

NTM症は土や水、浴室などの環境に自然に存在する菌が肺などの臓器に入り、ゆっくりと炎症を起こす病気です。結核と似た症状を示すことがありますが、結核とは異なり、一般的に人から人へうつることはありません。咳や痰が長く続く、息苦しさがあるなどの呼吸器症状、微熱や体重減少などの全身症状がみられることがあります。

NTM(非結核性抗酸菌)は環境中に広く存在するため感染を完全に予防することは困難です。早期に診断することで、病状に応じた治療や経過観察を開始することができるため、咳や痰などの症状が続く場合や、健康診断で肺の異常を指摘された場合は、そのままにせず早めに医療機関を受診しましょう。早期発見・早期治療につなげることが重要です。

参考
千葉県感染症情報センター「週報(2026年第37週)」https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2637.pdf
千葉県「結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間」
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kekkaku/tbweek.html
結核予防会「パンフレット・ポスター」https://www.jatahq.org/headquarters/poster/

麻 し ん　医 全

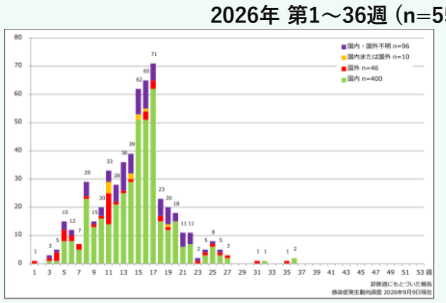
千葉県では、2026年第37週に届出はなく、2026年の累計は32例となっています。全国では、2026年第36週に東京都と福岡県で各1例の届出があり、2026年の累計は552例となりました。

依然として、国内で患者の発生が続いており、海外で感染した方の入国を契機として、国内で二次感染が発生する事例も報告されています。

・麻しん(はしか)は、空気感染により広がる非常に感染力の強い感染症です。【インフルエンザの約10倍】
・手洗いやマスクだけでは、予防することはできません。有効な予防法は、MRワクチンの2回接種です。
・ワクチンの接種歴を母子手帳などの記録で確認し、未接種や不明な場合は、この機会に接種をご検討ください。



図1 :週別推定感染地域(国内・外)別麻しん報告数
2026年 第1～36週 (n=552)



推定感染地域「国外」及び「国内または国外」の国別報告数

アメリカ合衆国	1	モンゴル	1
イギリス	1	台湾	2
イタリア /スペイン	1	大韓民国	1
インド	4	大韓民国 /国内	1
インドネシア	15	渡航先不明 /国内	1
インドネシア /シンガポール	1		
インドネシア/シンガポール /香港 /国内	1		
シンガポール	1		
トルコ /カナダ /ドイツ /国内	1		
ニュージーランド	7		
ニュージーランド /国内	4		
バングラデシュ	2		
フィリピン	1		
フィンランド /イタリア /フランス	1		
ベトナム	5		
ベトナム /タイ	1		
ベトナム /国内	2		
マレーシア	1		

【参考】千葉県感染症情報センター「千葉県の麻しん発生状況(2026年第37週)」
https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637measles.pdf
【参考】JIHS「麻疹発生動向調査　2026年第36週」https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/2026/meas26-36.pdf

インフルエンザ感染症

医 全

定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	162	0	0	21	32

※型非鑑別キット例を除く）

（医療機関からの型報告なく不明な　0

2026年第37週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

第37週の千葉県全体の定点当たり報告数は、前週の5.49（人）から増加して、8.63（人）となりました（図1）。市川保健所管内の報告数は、前週から増加し、13.44（人）となっています（図2）。

第37週の千葉県内定点医療機関の協力による迅速診断結果について、1395例のうち、A型1361例（97.6%）、B型2例（0.1%）、A or B型32例（2.3%）であり、A型が多い状況です。

管内の保育園より、インフルエンザの発生報告が急増しています。基本的な感染対策の継続にご協力をお願いいたします。

図1

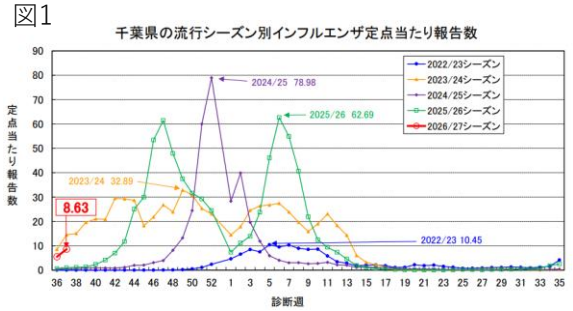
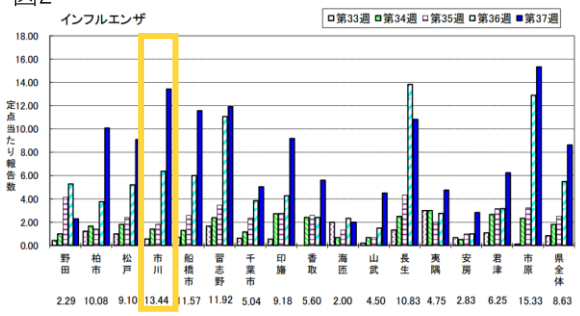


図2



感染対策

①手洗い・手指衛生
②マスクの着用・咳エチケット
③室内の換気　④室内の湿度の保持
⑤人込みを避ける　⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター
https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637influenza.pdf
【参考】厚生労働省「令和7年度急性呼吸器感染症(ARI)総合対策に関するQ&A」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2025.html

新型コロナウイルス感染症

医 全

定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

第37週の千葉県全体の定点当たり報告数は、前週の2.07（人）から増加して1.98（人）となりました。地域別では、柏市（4.58）、野田（2.57）、松戸（2.30）保健所管内が多い状況です。

市川保健所管内の報告数は、前週から減少し、2.00（人）となっています（図2）

図1

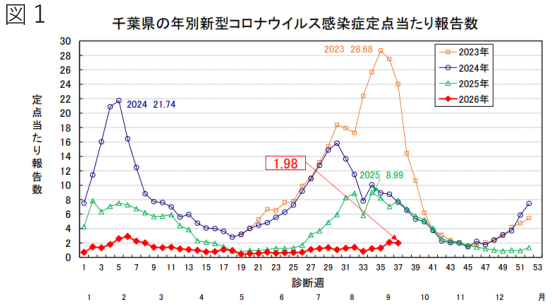
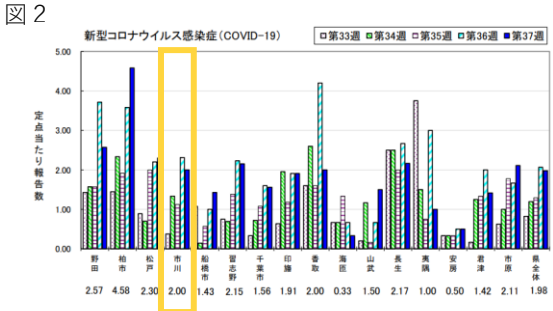


図2



感染対策

インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター
https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202637covid19.pdf
【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について
https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html

お 知 ら せ

医 全

【医療機関の皆様へ】

・1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、
発生届(オンライン・FAX等)の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。
なお、閉庁時であっても速やかに保健所へお電話いただきますようお願い申し上げます。

・閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。

・2月1日より疾病対策課の電話番号が変更となりました➡【047-377-1104】



◀◀感染症法に基づく　医師の届出ハンドブック

https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/pamphlet_A4.pdf

・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。

・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。

・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。

・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配信元
千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

市川保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

管内　県全体　警報基準値　解除基準値

マイコプラズマ肺炎は基幹定点のみ　COVID-19、急性呼吸器感染症（ARI）、RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎は警報基準値等の設定なし。

